

令和6年度 深谷市緑のカーテンコンテスト 団体部門 応募作品

CO₂削減・夏の節電対策として、緑のカーテンに取り組んでいただいた事業所等から、たくさんのご応募をいただきました。その取り組みの写真をご紹介させていただきます。（敬称略）

環境への取り組みについてご記入いただいた作品につきまして、コメントをご紹介させていただきます。



埼玉ガス株式会社

コメント：

本年は、摘心をこまめに行い、わき芽がよく伸びるように心がけました。その効果もあり、縦横無尽に蔓が伸び、良いカーテンになりました。今年はゴーヤの実も豊作で30cmを超える物も収穫出来ました

～企業PR～

私たちは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が石炭や石油と比べて少なく、環境にも人にも優しい都市ガスを皆様に供給することや、2024年4月にINPEX・深谷市と締結した包括連携協定でゼロ・カーボンシティ実現に向けて連携していきます。

公益財団法人 深谷市地域振興財団

コメント：

パッションフルーツの栽培が4年目、また、新たにコロタン(メロン)を栽培した。来場者が立ち止まる機会が増えた。水やりの時など、植物の名前、どんな実がなるのか、育て方、花が変わっているなどの質問、お話を受けることがあり、関心の高さがうかがえ、来場者交流、緑のカーテンのPR、啓蒙に役立っていると感じた。





深谷市 衛生センター

コメント：
雨が当たる場所に設置して節水しています。
花を見る楽しみがあります。

深谷市 水道庁舎

コメント：

5月上旬、東側壁面2か所に屋上からネットを垂らし、野菜用プランター4箱に琉球アサガオを植え付けた。高さが14mになるため、強風対策としてネットの両端にロープを結わえ補強し上部を2重にした。また、南側壁面3か所には元肥を混ぜ込んで土づくりを行い、去年のゴーヤの種から苗を育てた。ゴーヤの成長は早く7月下旬には窓枠全面を覆いつくすほどの緑豊かなカーテンとなった。琉球アサガオも順調に育ったが、14mの高さに到達したのは8月下旬となった。

窓を緑のカーテンで覆うことで、室内に入る直射日光が和らぎ、室内の温度上昇を抑えられた。また、ゴーヤの収穫や水くれ等、みんなで協力し楽しみながら行えたことが良かった。





深谷市 花園総合支所

コメント：

- ・市民が育てた苗を利用し、市民協働により緑のカーテンづくりを行っている。
- ・果実の苗を植えることで果実の成長観察など楽しく取り組んでいる。

深谷市 ガーデンシティふかや推進室

コメント：

農薬は使用せず、土づくりは腐葉土をベースに牛糞や化成肥料をミックスしています。土をカゴに入れ地面の上に置き、根がカゴの外まで伸びるように工夫しました。オカワカメの葉とゴーヤの実は、緑の王国ボランティアの皆さんに持って帰って食べていただきました。



深谷市 南公民館

コメント：

各自治会から推薦されたボランティアの皆さんで構成される「みなみガーデニング倶楽部」に、公民館の庭や駐車場の植栽を管理していただいています。活動の一環として、毎年、大会議室の東側窓際へアサガオを植えて緑のカーテンを設置し、会員と公民館職員が協力して手入れや水やりをしています。今年は酷暑でしたが、朝は適量・夕方たっぷりの水やり等工夫して立派なアサガオになりました。

緑のカーテンの設置は毎年恒例となっており、日当たりの良い大会議室の利用者から、直射日光が当たらないため好評をいただいています。